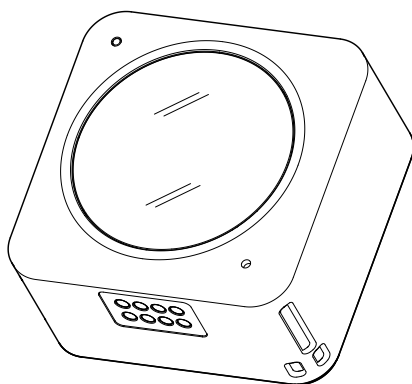


dji ACTION 2

ユーザーマニュアル v1.2 2021.10



キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Readerを使用して本書をお読みの場合、WindowsではCtrl+F、MacではCommand+Fを押して検索を開始できます。

トピックへの移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

本書の印刷

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

⚠ 重要

💡 ヒントとコツ

ご使用の前にお読みください

DJI Action™ 2を使用する前に以下の書類をお読みください：

1. ユーザーマニュアル
2. 安全ガイドライン
3. クイックスタートガイド

DJIの公式サイト（www.dji.com/action-2）もしくはDJI Mimoアプリ内にあるすべてのチュートリアルビデオの視聴をお勧めします。初回使用前に安全に関するガイドラインをお読みください。初めて使用する前に、必ずクイックスタートガイドを確認し、詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

DJI Mimoアプリのダウンロード

QRコードをスキャンするか、App Storeで「DJI Mimo」を検索してください。

<https://m.dji.net/mimo>



⚠ iOS版のDJI Mimoは、iOS v12.0以降で動作します。Android版のDJI Mimoは、Android v8.0以降で動作します。

ごでチュートリアルビデオの視聴

初めて使用する前に、公式DJIサイト（<https://www.dji.com/action-2/video>）でチュートリアルビデオやその他の動画を視聴いただくか、QRコードをスキャンしてください。



目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
ご使用前にお読みください	3
DJI Mimoアプリのダウンロード	3
ごチュートリアルビデオの視聴	3
製品の特徴	5
はじめに	5
DJI Action 2 カメラユニット	5
アクセサリー	6
準備する	10
アクティベーション	10
DJI Action 2の充電	10
使用方法	11
電源/録画ボタン	11
タッチ画面	12
ステータスLEDの説明	15
写真および動画の保存	15
DJI Mimoアプリ	16
メンテナンス	18
ファームウェア更新	18
水中で使用するときの注意	18
他のアクセサリーの使用（非同梱品）	19
清掃についての注意	19
パソコンとの接続	19
仕様	21
アフターサービス情報	23

製品の特徴

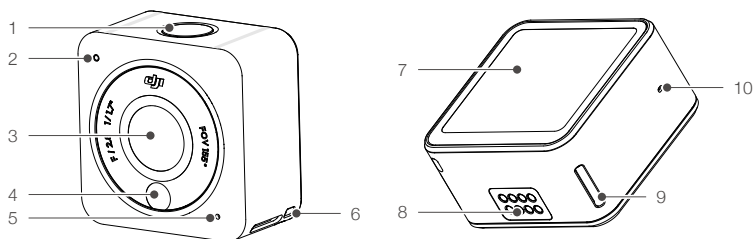
はじめに

DJI Action 2は、12MPのシャープな写真の撮影が可能で、最大4K/120fpsのスムーズな動画を撮影できます。革新的なマグネット着脱式デザインにより、アクセサリをすばやく交換できます。例えば、ライブビューを見ながらセルフイーを撮影したり、カメラを操作できるフロントタッチ画面モジュールなどのアクセサリを素早く交換できます。DJIの最新EIS（電子式映像ブレ補正）テクノロジーにより、超スムーズな映像を録画することもできます。HorizonSteady 2.0はこれまで以上に安定した映像を保証します。

DJI Action 2をモバイル端末を介してDJI Mimoと無線接続することにより、DJI Action 2を最大限に使用することができ、高画質動画をリアルタイムで表示します。また、カメラユニットは水深10 mまでの防水性があり、防水ケースに入れることで水深60 mまで使用することができます。

DJI Action 2は他のアクセサリと組み合わせることにより、使い方が広がり、ますます楽しむことができます。アクセサリには、フロントタッチ画面モジュール、電源モジュール、磁気アダプターマウント、磁気ボールジョイント アダプターマウント、磁気クリップ、延長ロッド（リモコン付属）、防水ケース、マクロレンズなどがあります。

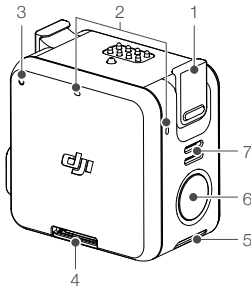
DJI Action 2 カメラユニット



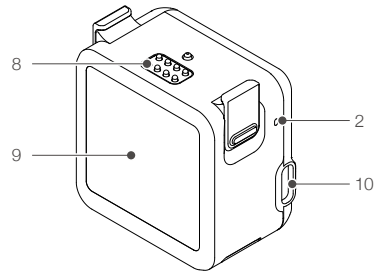
- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 電源/録画ボタン | 7. タッチ画面 |
| 2. ステータスLED | 8. 拡張ポート |
| 3. レンズ | 9. 磁気ロック用取り付け穴 |
| 4. 色温度センサー | 10. 空気圧調整穴 |
| 5. マイク | |
| 6. ストラップ取付口 | |

アクセサリ

DJI Action 2 フロントタッチ画面モジュール

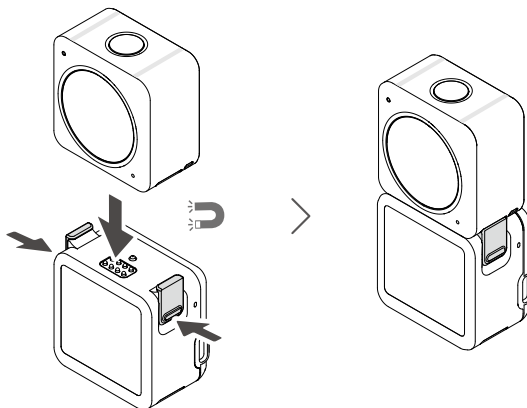


1. 磁気ロック用フック
2. マイク
3. ステータスLED
4. microSDカードスロット
5. 磁気ロック用取り付け穴
6. 電源/録画ボタン
7. スピーカー

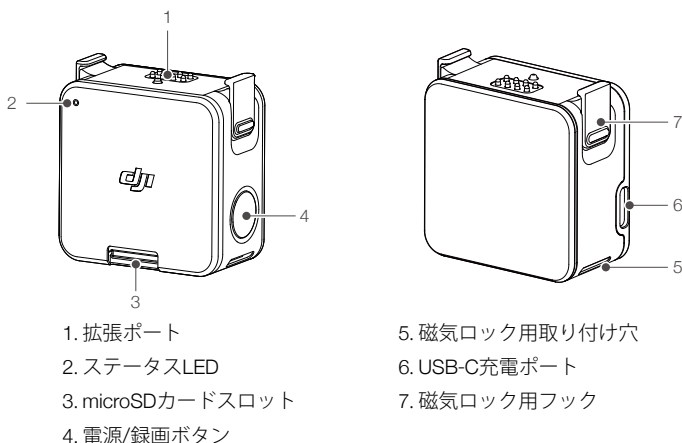


8. 拡張ポート
9. フロント画面
10. USB-C充電ポート

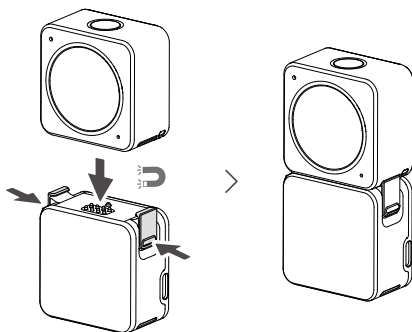
フロントタッチ画面モジュールはカメラユニットに近づけて、磁気で取り付けることができます。カメラの底部両側にある磁気ロック用取り付け穴に磁気ロック用フックが正しく取り付けられロックされていることを確認してください。両側にあるフック部分を押し、取り外すことができます。



DJI Action 2 電源モジュール

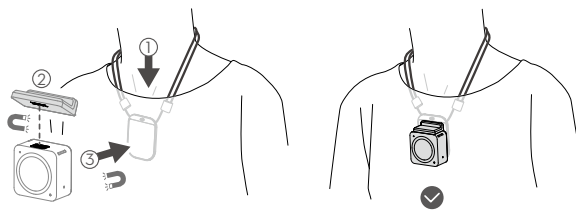


DJI Action 2 電源モジュールは、カメラユニットに磁気で取り付けることができ、電力を供給し動作時間を延長します。microSDカードを挿入すれば、カメラの外部ストレージ容量として使用することができます。カメラの底部両側にある磁気ロック用取り付け穴に磁気ロック用フックが正しく取り付けられロックされていることを確認してください。両側にあるフック部分を押しと、取り外すことができます。



DJI Action 2 磁気ストラップ

磁気ストラップはカメラユニットを便利に持ち運ぶために使用できます。長さは調整可能で、カメラユニットが鎖骨の下あたりにくるように吊るして、取り付けてください。

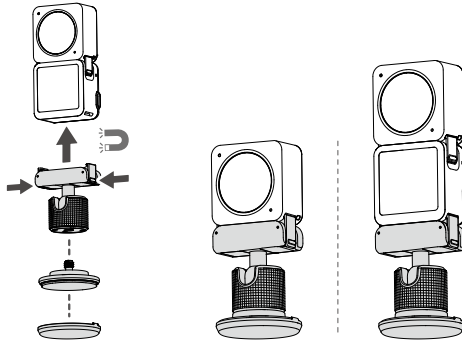




- セーターやジャケットなど、厚みのある衣類を着ているときには使用しないでください。磁気による取り付けが弱くなり、カメラユニットが落下する恐れがあります。
- 飛び跳ねたり走ったりするような、激しい運動を行うときには使用しないでください。
- 磁気ストラップの磁気シートを必ず衣類の内側に入るようにしてください。磁気による取り付けが弱くなり、カメラユニットが落下する恐れがあります。
- 磁気ストラップには、カメラユニットのみ取り付けてください。他のアクセサリーは取り付けしないでください。

DJI Action 2 磁気ボールジョイント アダプターマウント

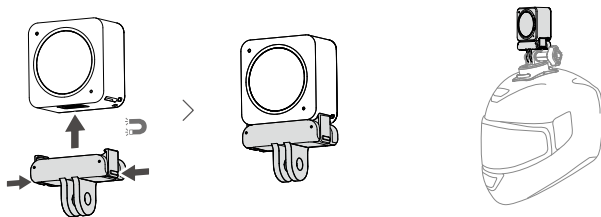
DJI Action 2 磁気ボールジョイント アダプターマウントは、カメラユニット、フロントタッチ画面モジュール、電源モジュールに磁気で取り付けることができます。磁気ロック用フックがカメラユニットまたはモジュール両側の磁気ロック用取り付け穴に適切に取り付けられていることを確認し、取り外し前には両方のフックを押してください。取り付け面の表面を拭いてから、接着ベースを取り付け、そのまま10秒以上押さえ続けてください。その後、30分待ってからカメラを取り付けることをおすすめします。アダプターマウント底部の接着ベースは、洗浄して自然乾燥させれば、繰り返し使用できます。



- 接着ベースを、カーブしている面や粗い面、粉のついた面、はがれかけた面、ほこりや砂のついた面、または油や水で汚れた面に取り付けられないでください。アダプターマウントがしっかり取り付けられない恐れがあります。
- 接着ベースの動作環境温度は0~40℃です。この温度範囲よりも高い、または低い温度の表面に接着ベースを取り付けられないでください。
- 垂直または傾斜のある表面に取り付ける場合は、カメラユニットだけをマウントに取り付けることをおすすめします。
- 激しい運動中に録画する際は、磁気アダプターをOsmo Action取り付けキットと一緒に使用することを推奨します。

DJI Action 2 磁気アダプターマウント

磁気アダプターマウントは、カメラユニット、フロントタッチ画面モジュール、電源モジュールに磁気で取り付けることができます。磁気ロック用フックがカメラユニットまたはモジュール両側の磁気ロック用取り付け穴に適切に取り付けられていることを確認し、取り外し前には両方のフックを押してください。



警告

- DJI Action 2には、磁石が内蔵されています。干渉を避けるため、磁気カード、ICカード、ハードディスク、RAMチップ、ペースメーカーなどの埋め込み型医療機器、その他のデバイスにカメラを近づけないでください。
- 拡張ポートやレンズの端が、使用中に熱くなることがあります。やけどする恐れがあるので、触れないようにしてください。
- 拡張ポートに埃や液体が付着している状態で、カメラユニットをフロントタッチ画面モジュールに取り付けしないでください。カメラが腐食したり、短絡したりする恐れがあります。
- フロントタッチ画面モジュールや電源モジュールは、防水ではありません。フロントタッチ画面モジュールや電源モジュールを、カメラユニットと組み合わせて水中で使用するときには、防水ケースを併用することが必須となります。
- バッテリー残量が低下したときには、DJI Action 2を充電してください。バッテリー残量が少ない状態で、DJI Action 2を4か月を超えて保管するとバッテリー寿命が短くなります。バッテリーを10日以上使用しない場合は、充電または放電して、DJI Action 2のバッテリー残量を40～60%にしてください。
- DJI Action 2を自動車のルーフや窓に取り付けるときには、以下の条件で本製品が落下する場合があります。：自動車の走行が速すぎる、表面が汚れている、強風や雷雨などの悪天候。
- オーディオ品質を良くするには、動画撮影時にマイクを塞がないようにしてください。
- 再生時に音声を聞くには、カメラユニットをフロントタッチ画面モジュールに接続してください。スピーカーを塞がないでください。オーディオ性能に影響を及ぼす恐れがあります。
- DJI Action 2を初めて使用する際は、DJI Mimoでアクティベーションをおこなう必要があります。
- フロントタッチ画面モジュールや電源モジュールと一緒に使用する時は、以下の違いに注意してください：

	フロントタッチ画面モジュール	電源モジュール
マイク	3	なし
フロント画面	1	なし
スピーカー	1	なし
サイズ	39 × 41.6 × 24.6 mm	39 × 41.6 × 21.4 mm
重量	64 g	56.6 g
動作時間	160 分 *	180 分 **

- * 1080p（省電力モード）を使用、30fps、スリープモードを1分で設定、電子式映像ブレ補正を無効化した状態で測定。この値はあくまで参考値です。
- ** 1080p（省電力モード）を使用、30fps、電子式映像ブレ補正を無効化した状態で測定。この値はあくまで参考値です。

準備する

アクティベーション

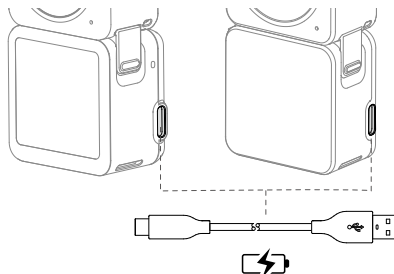
カメラユニットを使用する際、DJI Mimoでアクティベーションする必要があります。アクティベーションは次の手順に従ってください。

1. 電源/録画ボタンを長押しして、電源を入れます。
2. モバイル端末でWi-FiとBluetoothを有効にします。
3. DJI Mimoを起動し、📷をタップし、指示に従ってカメラユニットをアクティベーションします。



DJI Action 2の充電

1. 電源ケーブル（同梱）でUSBアダプター（非同梱）とUSB-Cポートを接続します。
2. 電源オフの状態充電しているときは、フロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールのステータスLEDが点灯します。バッテリーは完全充電されると、ステータスLEDの表示が緑色で6秒間点灯し消灯します。接続時、カメラユニットとフロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールの両方を完全充電するには、約90分かかります。*



* ラボ環境下で、5 V/2 A USBのUSBアダプターを使用して測定。この値はあくまで参考値です。



- ・バッテリー残量が低下したときには、DJI Action 2を充電してください。バッテリー残量が少ない状態で、DJI Action 2を4か月超えて保管するとバッテリー寿命が短くなります。
- ・充電時、フロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールがカメラユニットと接続されている場合、カメラユニットが最初に充電されます。

使用方法

電源 / 録画ボタン



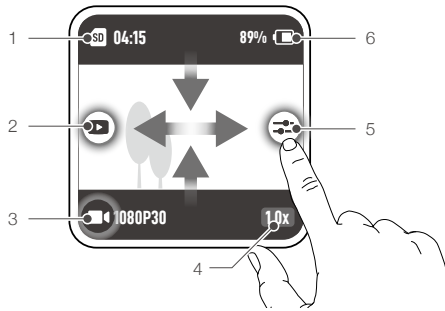
1. 電源オフ時：
 - A. 押すと、電源が入ります。
 - B. 長押しすると、すばやく電源が入り、すぐ撮影を開始できます。撮影モードは、Snapshotの設定に依存します。
2. 電源オン時：
 - A. 押すと、写真を撮影する、もしくは録画を開始/停止します。設定画面または再生画面では、押すとカメラビューに戻ります。
 - B. 長押しするとスリープモードに入り、再度押すとスリープモードを終了します。スリープモード中、60分経過するとカメラの電源が自動的に切れます。QuickClipモード中、録画時に長押しすると録画時間を延長します。
 - C. 2回押すと、撮影モードが切り替わります。



- ・カメラユニットが正常に動作していないときには、電源/録画ボタンを20秒間長押しすると、カメラユニットが再起動します。
- ・フロントタッチ画面モジュールがカメラユニットと未接続時、電源/録画ボタンを押すと、フロントタッチ画面でバッテリー残量と接続についてのヒントを表示します。
- ・電源モジュールがカメラユニットと未接続時、電源/録画ボタンを押すと、ステータスLEDがバッテリー残量を示します。
- ・フロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールがカメラユニットと接続時、フロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールの電源/録画ボタンはカメラユニットの電源/録画ボタンと同様に機能します。

タッチ画面

カメラの電源を入れた後、タッチ画面にはライブビューが表示され、撮影モード/バッテリー残量/microSDカードの情報も表示されます。



- フロントタッチ画面モジュールはカメラユニットと接続すると、フロントタッチ画面がカメラユニットのタッチ画面と同様の表示をして、同様に機能します。

カメラビュー

1. ストレージ容量の情報

- 📷 04:15 : 現在の撮影モードに応じて、撮影できる写真残数か、録画できる動画の残り時間を表示します。microSDカード挿入時は、SD 04:15が表示されます。

2. 再生

- ▶ : ボタンをタップする、もしくは画面の左端から右へスワイプすると、撮影した写真や動画をプレビューできます。

3. 撮影モード

- 📷 1080P30 : 現在の撮影モードやパラメーターを表示します。画面を上へスワイプする、もしくはボタンをタップすると、撮影モードやパラメーターを設定できます。

4. ズーム

- 1.0x : タップすると、ズームの倍率を設定できます。スローモーションやタイムラプス選択時は、ズームは使用できません。

5. パラメーター

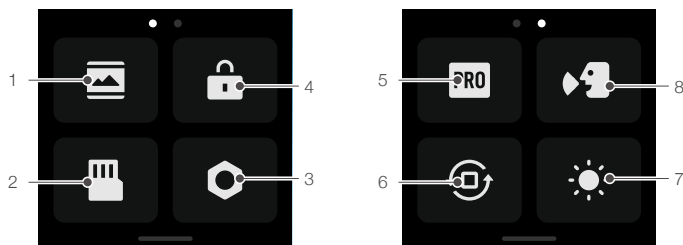
- ⚙️ : タップする、もしくは画面の右端から左へスワイプすると、映像や音声のパラメーターを調整できます。

6. バッテリー残量

- 89% 🔋 : DJI Action 2の現在のバッテリー残量を表示します。このアイコンをタップすると、バッテリー残量の詳細情報が表示されます。

下にスワイプ

タッチ画面で下にスワイプすると、設定に移動します。



1. 画面設定

このアイコンをタップすると、全画面表示とレターボックス表示を切り替えます。

2. ストレージ

タップすると、記録メディアの切り替え、microSDカードのフォーマット、内蔵ストレージのフォーマット、内蔵ストレージからmicroSDカードへの写真と動画のエクスポートを行います。

3. システム設定

タップするとシステム設定に入ります。

音声操作：音声操作を有効にして、音声コマンドでカメラを使用します。簡体中国語と英語に対応しています。音声コマンドには、Start Recording（録画開始）、Stop Recording（録画停止）、Take Photo（写真撮影）、Shut Down（シャットダウン）があります。

振動通知：タップすると、有効/無効を切り替えます。振動通知は、デフォルトでは有効になっています。

SnapShot：カメラの電源オフ時、またはスリープモード時、スナップショットを使うと、すばやく電源を入れすぐに撮影を開始できます。対応する撮影モードは、動画モード、QuickClipモード、タイムラプスモードがあります。

無線接続：タップすると、カメラ名とパスワードの確認、Wi-Fi周波数の設定、接続のリセットを行うことができます。

動画圧縮：タップすると、互換性優先か効率優先かで動画のエンコード形式を切り替えます。互換性を選択すると、高い互換性を有するH.264でエンコードされます。効率を選択すると、動画はより小さなファイルサイズに圧縮できるHEVCでエンコードされます。以下の状況では、効率モードの動画のみ利用可能です：

- a. 動画：4K (4:3) とサポートされるfps
- b. 動画：4K (16:9) 120/100fps または 1080p 240fps
- c. スローモーション：4K 4倍 または 1080p 8倍。

音声：タップすると、音声を有効化/無効化します。

グリッド：タップすると、グリッドを有効化/無効化します。

ちらつき防止：タップすると、ちらつき防止を有効化/無効化します。ちらつき防止はちらつきを検出し、影響が少なくなるように撮影のタイミングを調整します。

自動録画停止温度：タップすると自動録画停止温度を[標準]または[高]に設定します。デフォルトでは、[標準]に設定されています。一部の国と地域では、現地の規制や政策のため、自動録画停止温度を[高]に設定することができません。

画面オフ（画面ロック）：タップして有効にすると、画面ロック時に画面をオフにします。

画面オフ（録画時）：タップして時間を設定すると、録画開始時、設定した時間まで無操作が続

いた場合に画面がオフになります。

自動電源オフ：タップすると、カメラが自動的に電源オフになる時間を設定します。

LED：タップすると、接続時のカメラユニットとフロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールのLEDを有効化/無効化します。

マクロレンズ検知：タップして、マクロレンズを有効にします。

前回のライブ配信を継続する：タップして有効にすると、ライブ配信の停止後、カメラユニットが前回のライブ配信を続けることができます。

言語：タップすると、英語、簡体中国語、繁体中国語、日本語、韓国語、タイ語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ロシア語、ブラジルポルトガル語、トルコ語、インドネシア語、ポーランド語の中から言語を設定できます。

工場出荷時の設定に戻す：タップすると、設定をデフォルトにリセットします。

機器情報：タップすると、名称、シリアル番号、ファームウェアバージョン、クイックスタートガイドを表示します。

コンプライアンス情報：タップすると、コンプライアンス情報を表示します。

4. 画面ロック

タップすると、画面をロックします。タッチ画面を上へスワイプすると、画面ロックが解除されます。

5. プロスイッチ

タップしてプロモードに切り替えると、フォーマット、露出、WBの設定を調整できます。

6. 方向ロック

タップすると、自動方向と方向ロックを切り替えます。

7. 明るさ

タップしてスライドさせると、明るさを調整します。

8. 音声操作切り替え

タップして音声操作を有効にすると、音声設定コマンドを使用して、カメラを操作できるようになります。

上へスワイプ

上にスワイプして左右にスワイプすると、アスペクト比、カウントダウンタイマー、解像度などのパラメーターを設定できます。

1. 写真モードの場合：

アスペクト比とカウントダウンタイマーを設定します。

2. 動画モードの場合：

解像度とフレームレートを設定します。左上隅をタップすると、ループ撮影の撮影時間を設定します。右上隅をタップすると、電子式映像ブレ補正（EIS）をオフにして、RockSteady（ロックステディ）またはHorizonSteady（ホライズンステディ）を有効化します。電子式映像ブレ補正は、ある特定の解像度とフレームレートを使用しているときには利用不可です。

3. QuickClipモードの場合：

解像度とフレームレートを設定します。左上隅をタップすると、QuickClipの撮影時間を設定します。右上隅をタップすると電子式映像ブレ補正をオフにし、RockSteadyまたはHorizonSteadyを有効化します。電子式映像ブレ補正は、ある特定の解像度とフレームレートを使用しているときには利用不可です。

4. スローモーションモードの場合：

解像度と速度比を設定します。

5. タイムラプスモードの場合：

ハイパーラプスモードまたはタイムラプスモードを選択します。速度比はハイパーラプスモードで設定できます。シーン/間隔時間/撮影時間は、タイムラプスモードで設定できます。右上隅を

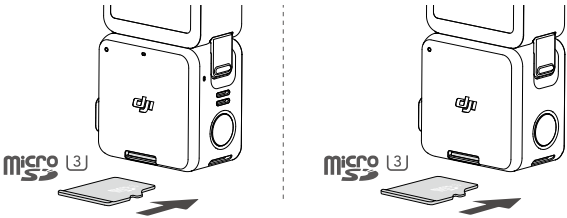
タップすると、タイムラプスモードの解像度を設定します。

左または右へスワイプ

タッチ画面の中央部で左右にスワイプすると、写真/動画/QuickClip/スローモーション/タイムラプスという風に撮影モードが切り替わります。

写真および動画の保存

カメラユニットの内蔵ストレージ容量は32 GB*で、このストレージは写真と動画を直接保存するために使用できます。フロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュール接続時、DJI Action 2で撮影した映像はmicroSDカード（非同梱）に保存できます。高解像度動画データの保存には高速の読み書き速度が必要なため、UHS-Iスピードクラス3規格のMicroSDカードが必要です。microSDカードを図のようにmicroSDカードスロットに挿入します。



* 22.4 GBの使用可能なストレージ。



• DJI Action 2はexFATファイルシステムのみに対応しています。FAT32には、対応していません。

ステータスLEDの説明

フロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールがカメラユニットに接続時、各モジュールのステータスLEDの点滅パターンは、電源が入るまではカメラユニットのものと同一となります。

点滅パターン	説明
緑色点灯	撮影準備が整った状態
オフ	microSDカードが検出されない、またはmicroSDカードのストレージが不足
一時的に消灯	写真を撮影中
赤色で毎秒1回点滅	動画、ループ撮影、スローモーション、タイムラプス、QuickClipを撮影中
カウントダウン中： 10秒～4秒：赤色で毎秒1回点滅 3秒～2秒：赤色で毎秒2回点滅 1秒～0秒：赤色で点灯 カウントダウン後：一時的に消灯	カウントダウンし、写真を撮影
赤色で3回点滅	カメラの電源オフ
赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェア更新中



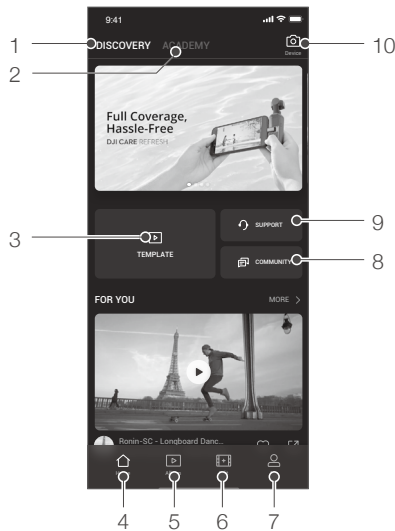
• フロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールがカメラユニットに接続時、各モジュールの電源が切れると、そのステータスLEDは緑色に点滅し、カメラユニットを充電していることを示します。

下の表は、カメラユニットにフロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールが接続されていない状態で電源／録画ボタンを押した後のステータスLED点滅パターンを説明しています。

点滅パターン	バッテリー残量
緑色に3秒間点灯してから消灯	90%～100%
緑色4回点滅	76%～89%
緑色3回点滅	51%～75%
緑色2回点滅	26%～50%
黄色が1回点滅	6%～25%
赤色に3回点滅してから消灯	0%～5%

DJI Mimo アプリ

ホーム画面



1. ディスカバリー：タップすると、ホーム画面に入ります。
2. アカデミー：タップすると、チュートリアルビデオを視聴したり、ユーザーマニュアルを表示したりできます。
3. AI編集：タップすると、動画を選択して編集できます。AI編集は、音楽とトランジションを含む動画を自動的に編集し、直接共有することができます。
4. ホーム：タップすると、ホーム画面に戻ります。
5. アルバム：タップすると写真や動画を表示します。
6. 編集：タップすると、DJI Action 2の映像を編集したり、モバイル端末から映像をインポートして編集できます。
7. プロフィール：DJIアカウントの登録やログインをします。作品や設定を表示、いいね！やフォローの確認、他ユーザーへのメッセージ送信、およびDJIストアへの接続ができます。
8. フォーラム：タップすると、DJIの公式フォーラムページが表示されます。
9. DJI サポート：タップすると、DJI公式の製品サポートページが表示されます。
10. カメラビュー：タップすると、カメラビューに移動します。

カメラビュー



撮影モードによって、カメラビューの表示は異なります。ここでの画面は参照用の一例です。

1. ホーム

🏠：タップするとホーム画面に戻ります。

2. Wi-Fi

📶：Wi-Fi接続の状態を表示します。

3. バッテリー残量

🔋99%：DJI Action 2の現在のバッテリー残量を表示します。

4. EIS（電子式映像ブレ補正）

RS：現在の電子式映像ブレ補正を表示します。

5. microSDカード情報

SD 11:38：現在の撮影モードに応じて、撮影できる写真残数か、録画できる動画の残り時間を表示します。

6. シャッター/録画ボタン

📷：タップすると、写真を撮影するか、動画の録画を開始/停止します。

7. 撮影モード

スクロールして撮影モードを選択します。タイムラプス、スローモーション、動画、QuickClip、写真の中から選択します。

8. 再生

🔍：タップすると、撮影した写真や動画をすぐにプレビューできます。

9. 設定

⚙️：選択した撮影モードでベーシックモードまたはプロモードを選択します。どの撮影モードを使用するかにより、設定するパラメーターは異なります。以下の例では、動画モードを使用しています。：

a. 動画設定

ベーシック：ループ撮影、FOV、EIS、グリッドが利用可能です。

プロ：プロを有効化すると、フォーマット、露出、ホワイトバランスといった設定が利用可能となります。

b. 一般設定

ストレージ管理、動画圧縮、ちらつき防止、自動録画停止温度や、機器名、シリアル番号、バージョン情報などの詳細を表示します。接続端末の選択、Wi-Fi名やパスワードの設定、Wi-Fi周波数の切り替えも行えます。

10. 録画パラメーター

 : タップすると、解像度やフレームレートを設定できます。

11. ズーム

 : タップしドラッグすると、ズームの倍率を設定できます。

メンテナンス

ファームウェア更新

DJI Action 2 カメラユニット

カメラユニットのファームウェアは、DJI Mimoで更新する必要があります。

新しいファームウェアが利用可能になると、プロンプトが表示されます。更新に失敗したときは、以下の手順に従ってください。

1. モバイル端末のBluetooth接続とWi-Fi接続を解除して再接続します。そしてカメラユニットを再起動します。
2. DJI Mimoを再起動します。Mimoとカメラユニットが接続された後にファームウェア更新が開始されます。

アクセサリ

フロントタッチ画面モジュールと電源モジュールのファームウェアは、カメラユニットのファームウェアに含まれています。以下の手順に従って、ファームウェアを更新してください：

1. フロントタッチ画面モジュールまたは電源モジュールを取り付け、カメラユニットの電源を入れます。
2. 新しいファームウェアが利用可能であれば更新が自動的に開始されます。



- ファームウェア更新の前に、カメラユニットのバッテリー残量が 15%以上あることを確認してください。
- ファームウェアがそれでも更新できない場合は DJI サポートにお問い合わせください。

水中で使用するときの注意

1. カメラユニットと防水ケースはGB/T 4208-2017とIEC 60529:2013のIP68防水性標準に適合しています。カメラユニットのみの場合、水深最大10mまで使用できます。防水ケースと併用する場合、水深最大60mまで使用できます。
2. DJI Action 2を温泉で使用しないでください。DJI Action 2を腐食性または不明な液体と接触させないでください。
3. ダイビング、サーフィン、長時間にわたる水中での使用、水辺で強い衝撃を受けるような状況では、防水ケースを取り付けてください。
4. フロントタッチ画面モジュールや電源モジュールは、防水ではありません。水中で使用する際は、防水ケースに必ず入れてください。
5. 防水ケース使用時は、防水ケースの内部が乾いた清潔な状態で、適切にロックされ、防水ゴムリングがしっかりとまっていることを必ず確認してください。くもるのを防ぐため、曇り止めインサートを挿入します。使用前に正常に機能することを確認するため、防水ケースを約5分間水中に入れておくことを推奨します。

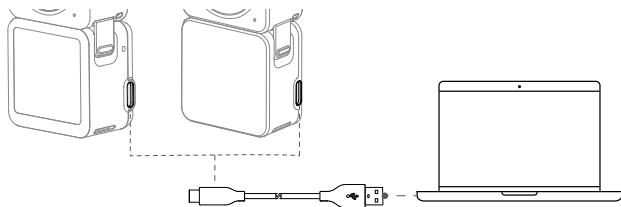
6. カメラユニットを持って、勢いよく水に飛び込むことは避けてください。衝撃で水漏れが生じる恐れがあります。水に飛び込む前にカメラユニットの防水性に問題がないか確認してください。必要な場合は防水ケースを併用ください。
7. 水中で使用した後は、浄水でカメラユニットや防水ケースを洗ってください。次回使用するまで、自然乾燥させてください。
8. 磁気ヘッドバンドを使用する場合、カメラユニットのみを取り付けてください。サーフィンやダイビングのような、カメラユニットに衝撃を与えるようなシーンでは使用しないでください。

清掃についての注意

1. レンズのガラスは常に汚れのない状態にしてください。砂やほこりはレンズのガラスに損傷を与える恐れがあります。DJI Action 2を清潔で乾いた布で拭いてください。
2. DJI Action 2に砂やホコリがつかないようにしてください。DJI Action 2上にある穴が、砂、ホコリなどで詰まった場合は、カメラユニットを洗浄してください。
3. カメラユニット上にある穴は、すべて防水処理が施されています。防水材を取り除いたり、穴をつついたりしないでください。カメラユニットの防水性が損なわれます。
4. フロントタッチ画面モジュール上の穴やスピーカーを突かないでください。

パソコンとの接続

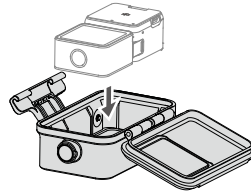
DJI Action 2とパソコンを接続すると、カメラユニットのタッチ画面に[ファイル転送]、[Webカメラ]、[キャンセル]の選択肢が表示されます。[キャンセル]を選択すると、DJI Action 2を充電します。ファイル転送が中断されたときは、DJI Action 2をパソコンに再接続してください。



他のアクセサリーの使用（非同梱品）

アクセサリー一覧	図
DJI Action 2 延長ロッド（リモコン付属）	

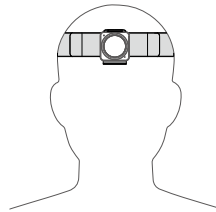
DJI Action 2 防水ケース



DJI Action 2 マクロレンズ



DJI Action 2 磁気クリップ



QRコードをスキャンするか、DJIの公式サイト (www.dji.com/action-2) に対応する製品情報またはユーザーガイドをお読みください。



仕様

DJI Action 2 カメラユニット	
一般	
モデル	MC211
サイズ	39×39×22.3 mm
防水性	水深10 mまで（防水ケース使用時は、水深60 mまで）
重量	56 g
カメラ	
画面	1.76インチ 350 ppi 500±50 cd/m ² 446×424
センサー	1/1.7インチCMOS
FOV	155°
絞り範囲	f/2.8
ISO感度	写真：100～6400 動画：100～6400
電子シャッター速度	写真：1/8000秒～30秒 動画：1/8000秒～1/X秒（X:フレームレート設定値）
静止画最大解像度	4000 × 3000
静止画モード	シングル写真：12 MP カウントダウン写真：オフ/0.5/1/2/3/5/10秒
標準録画	4K (4:3)：4096×3072 @ 24/25/30/48/50/60 fps 4K (16:9)：3840×2160 @ 100/120 fps 4K (16:9)：3840×2160 @ 24/25/30/48/50/60 fps 2.7K (4:3)：2688×2016 @ 24/25/30/48/50/60 fps 2.7K (16:9)：2688×1512 @ 100/120 fps 2.7K (16:9)：2688×1512 @ 24/25/30/48/50/60 fps 1080p (16:9)：1920×1080 @ 100/120/200/240 fps 1080p (16:9)：1920×1080 @ 24/25/30/48/50/60 fps
スローモーション録画	4K：4倍（120 fps） 2.7K：4倍（120 fps） 1080p：8倍（240 fps）、4倍（120 fps） 4K/2.7K/1080p：
タイムラプス	撮影間隔：0.5秒/1秒/2秒/3秒/4秒/5秒/6秒/7秒/8秒/ 10秒/13秒/15秒/20秒/25秒/30秒/40秒 撮影時間：∞、5/10/20/30分、1/2/3/5時間
安定化機構 ^①	EIS（電子式映像ブレ補正）：RockSteady 2.0、HorizonSteady
最大動画ビットレート	130 Mbps
対応ファイルフォーマット	exFAT
静止画フォーマット	JPEG/RAW
動画フォーマット	MP4（H.264/HEVC）
内蔵ストレージ容量	32 GB（22.4 GBの使用可能なストレージ）

対応SDカード	microSD（最大容量：256 GB）
推奨microSDカード	推奨microSDカード： Samsung EVO 128GB UHS-I スピードクラス3 microSDHC Samsung EVO Plus 128GB UHS-I スピードクラス3 microSDXC SanDisk Extreme 64GB V30 A2 UHS-I スピードクラス3 microSDXC SanDisk Extreme Pro 32GB UHS-I スピードクラス3 microSDXC SanDisk Extreme 16GB UHS-I スピードクラス3 microSDXC Lexar 1066x 64GB UHS-I スピードクラス3 microSDHC Kingston Canvas React Plus 64GB UHS-II スピードクラス3 microSD Kingston Canvas Go!Plus 64GB UHS-I スピードクラス3 microSD

オーディオ出力	48 kHz、AAC
---------	------------

内蔵バッテリー

バッテリータイプ	LiPo 1S
容量	580 mAh
電力量	2.23 Wh
電圧	3.85 V
動作環境温度	0～40℃
充電温度	5～60℃
動作時間 ^②	約70分

Wi-Fi

動作周波数	2.400～2.4835 GHz、5.150～5.250 GHz、5.725～5.850 GHz
伝送電力 (EIRP)	2.4 GHz：<16 dBm（FCC/CE/SRRC/MIC） 5.1 GHz：<14 dBm（FCC/CE/SRRC/MIC） 5.8 GHz：<14 dBm（FCC/CE/SRRC）
プロトコル	802.11a/b/g/n/ac

Bluetooth

動作周波数	2.400～2.4835 GHz
伝送電力 (EIRP)	<4 dBm
プロトコル	BLE 5.0

DJI Action 2 フロントタッチ画面モジュール^③

サイズ	39×41.6×24.6 mm
重量	64 g
画面	1.76インチ 350 ppi 500±50 cd/m² 446×424

内蔵バッテリー

バッテリータイプ	LiPo 2S
容量	1300 mAh
電力量	5 Wh
電圧	7.7 V

動作環境温度	0～40℃
充電温度	5～60℃
動作時間 ^②	カメラユニット + フロント画面モジュール：160分
充電時間 ^④	カメラユニット + フロント画面モジュール：90分
DJI Action 2 電源モジュール	
サイズ	39×41.6×21.4 mm
重量	56.6 g
内蔵バッテリー	
バッテリータイプ	LiPo 2S
容量	1300 mAh
電力量	5 Wh
電圧	7.7 V
動作環境温度	0～40℃
充電温度	5～60℃
動作時間 ^⑤	カメラユニット + 電源モジュール：180分
充電時間 ^④	カメラユニット + 電源モジュール：90分

- ① スローモーションとタイムラプスモードではEISは対応していません。
動画解像度が1080p (16:9) または2.7K (16:9)で、フレームレートが60fps以下の時のみ、HorizonSteadyを利用できます。
- ② 1080p（省電力モード）を使用、30fps、スリープモードを1分で設定、電子式映像ブレ補正を無効化した状態で測定。この値はあくまで参照値です。
- ③ フロントタッチ画面モジュールがカメラユニットに接続時、4K/100fps、4K/120fps、1080p/120fps、4K 4倍スローモーション、1080p 8倍スローモーションで録画する時は、以下の点に注意してください：フロントタッチ画面モジュールの画面には録画フォーマットのみ表示、音声操作に非対応、音声録音はカメラユニットの内蔵マイクでのみ可能。
- ④ ラボ環境下で、5V/2AのUSBアダプターを使用して測定。この値はあくまで参照値です。
- ⑤ 1080p（省電力モード）を使用、30fps、電子式映像ブレ補正を無効化した状態で測定。この値はあくまで参照値です。

アフターサービス情報

アフターサービスポリシー、修理サービス、サポートについては、<https://www.dji.com/support>をご覧ください。

本内容は変更されることがあります。

最新版は下記よりダウンロードしてください
www.dji.com/action-2

OSMOはDJI OSMOの商標です。
Copyright © 2021 DJI OSMO All Rights Reserved.